

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)白根屋内プール	
建設地	南区 上下諏訪木1775番地1	
用途地域	都市計画公園、法22	
建物用途	集会所、	
竣工年	2014年8月 予定	
敷地面積	75,524.41 m ²	
建築面積	2,270.73 m ²	
延床面積	2,085.13 m ²	
階数	地上2F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年5月30日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{63}{39} = 1.6$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	3.0
			維持管理	5.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.3		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.5		節水	-
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	4.0		生物環境の保全・創出	4.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	4.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

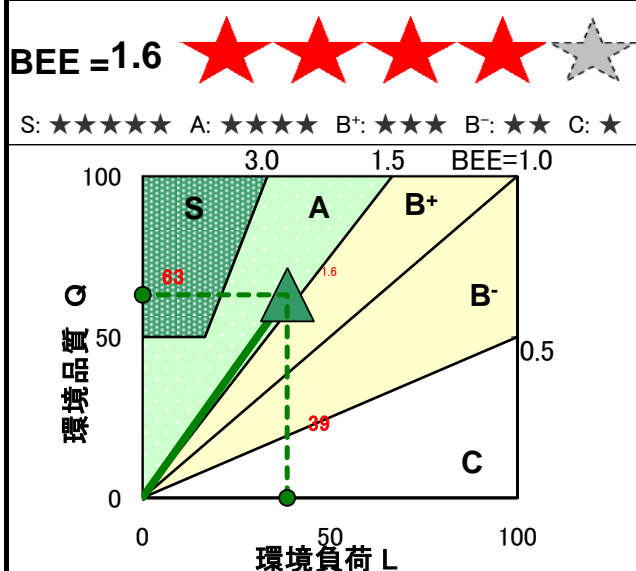
- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 長寿命化の取組み | …維持管理しやすい建材を使用。 |
| 3. 大雨への取組み | …指導に添った雨水抑制を計画。 |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み | …ハイサイドライトによる自然採光システムを計画。 |
| 5. 資源循環の取組み | …リサイクル建材の使用、構造材と仕上材を分離可能な計画。 |
| 6. 水と緑を活かす取組み | …敷地内にある樹木等の生物資源を積極的に保全。 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み | …ワークショップを実施し、設計プロセスに建物利用者が参加している。 |

CASBEE®新潟

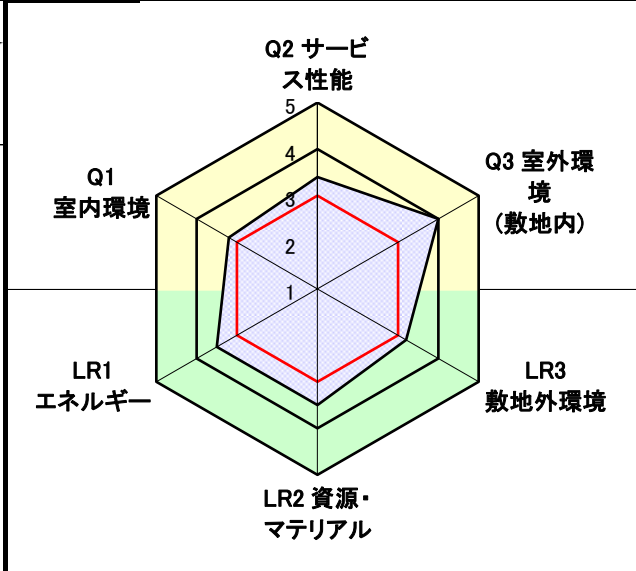
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

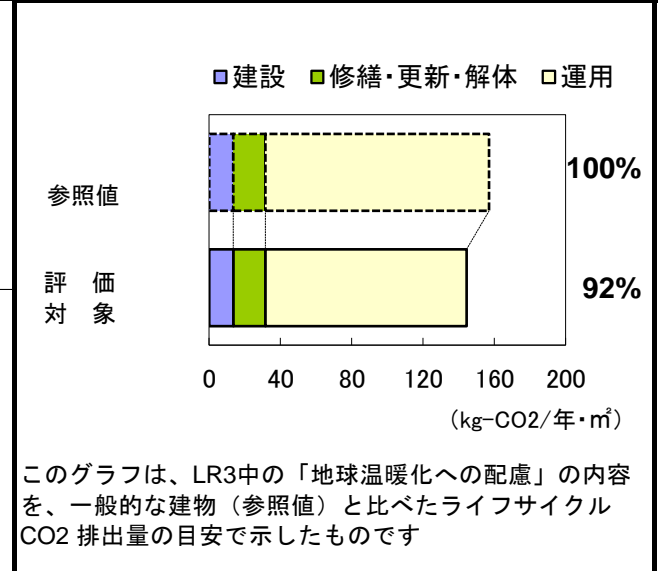
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



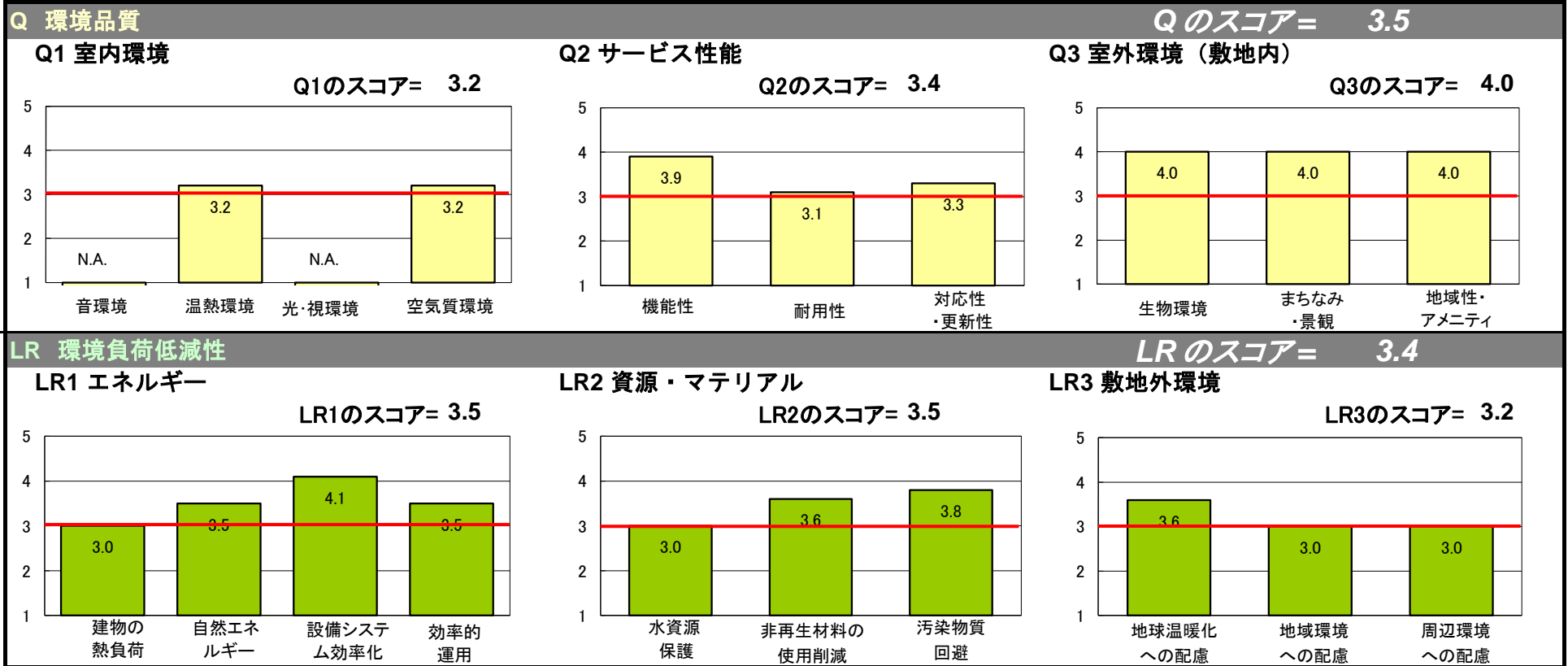
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 周辺環境や地域の特性を重視し、これらとの調和を図ることで市民から親しまれる「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる生涯スポーツの拠点」を目指す。		その他
Q1 室内環境 利用者が活用する空間に輻射式の床暖房設備を計画し、上下温度差や気流速度を少なくなるように配慮。	Q2 サービス性能 清掃しやすく汚れにくい内装材を選定し維持管理しやすい環境を整備。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内にある樹木等の生物資源を積極的に保全し、地域の豊かな生物相を支える緑地を整備。
LR1 エネルギー ハイサイドライトで自然採光システムを計画し、積極的に自然エネルギーを活用。	LR2 資源・マテリアル 非構造材のリサイクル材を積極的に採用し、資源の有効活用を図る。	LR3 敷地外環境 自動車利用による交通負荷を抑制できるように適切な量の駐車スペースを確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される